

図表一覧

表1 実件数と延べ件数	図1 実件数と延べ件数
表1-1 実・延べ件数別にみた性差	図1-1 実・延べ件数別にみた性差
表1-2 実・延べ件数別にみた年齢分布	図1-2 実・延べ件数別にみた年齢分布
表1-3 実・延べ件数別にみた地域保健事業	図1-3 実・延べ件数別にみた地域保健事業
表1-4 実・延べ件数別にみた診断名	図1-4 実・延べ件数別にみた診断名
表1-5 実・延べ件数別にみた状態像	図1-5 実・延べ件数別にみた状態像
表1-6 実・延べ件数別にみた相談者	図1-6 実・延べ件数別にみた相談者
表1-7 実・延べ件数別にみた援助方法	図1-7 実・延べ件数別にみた援助方法
表1-8 実・延べ件数別にみた訪問先	図1-8 実・延べ件数別にみた訪問先
表1-9 実・延べ件数別にみた相談種別	図1-9 実・延べ件数別にみた相談種別
表1-10-1 実・延べ件数別にみた治療上の問題内訳	図1-10 実・延べ件数別にみた治療・生活・社会復帰の問題
表1-10-2 実・延べ件数別にみた生活上の問題内訳	
表1-10-3 実・延べ件数別にみた社会復帰の問題内訳	
表1-11 実・延べ件数別にみた担当者	図1-11 実・延べ件数別にみた担当者

表2 自治体の形態別にみた相談ニーズ差(6区分)	図2 自治体の形態別にみた相談ニーズ差(6区分)
表2-1 自治体の形態別にみた性差(実件数)	図2-1 自治体の形態別にみた性差(実件数)
表2-2 自治体の形態別にみた年齢分布(実件数)	図2-2 自治体の形態別にみた年齢分布(実件数)
表2-3 自治体の形態別にみた地域保健事業(実件数)	図2-3 自治体の形態別にみた地域保健事業(実件数)
表2-4 自治体の形態別にみた診断名(実件数)	図2-4 自治体の形態別にみた診断名(実件数)
表2-5 自治体の形態別にみた状態像(実件数)	図2-5 自治体の形態別にみた状態像(実件数)
表2-6 自治体の形態別にみた相談者(実件数)	図2-6 自治体の形態別にみた相談者(実件数)
表2-7 自治体の形態別にみた援助方法(実件数)	図2-7 自治体の形態別にみた援助方法(実件数)
表2-8 自治体の形態別にみた訪問先(実件数)	図2-8 自治体の形態別にみた訪問先(実件数)
表2-9 自治体の形態別にみた相談種別(実件数)	図2-9 自治体の形態別にみた相談種別(実件数)
表2-10-1 自治体の形態別にみた治療上の問題内訳(実件数)	図2-10 自治体の形態別にみた治療・生活・社会復帰上の問題(実件数)
表2-10-2 自治体の形態別にみた生活上の問題内訳(実件数)	
表2-10-3 自治体の形態別にみた社会復帰の問題内訳(実件数)	
表2-11 自治体の形態別にみた担当者(実件数)	図2-11 自治体の形態別にみた担当者(実件数)

表3 市町村、県保健福祉事務所、地域生活支援センターでの相談状況	図3 市町村、県保健福祉事務所、地域生活支援センターでの相談状況
表3-1 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた性差(延べ件数)	図3-1 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた性差(延べ件数)
表3-2 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた年齢分布(延べ件数)	図3-2 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた年齢分布(延べ件数)
表3-3 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた地域保健事業(延べ件数)	図3-3 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた地域保健事業(延べ件数)
表3-4 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた把握区分(延べ件数)	図3-4 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた把握区分(延べ件数)
表3-5 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた診断名(延べ件数)	図3-5 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた診断名(延べ件数)
表3-6 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた状態像(延べ件数)	図3-6 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた状態像(延べ件数)
表3-7 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた相談者(延べ件数)	図3-7 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた相談者(延べ件数)
表3-8 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた援助方法(延べ件数)	図3-8 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた援助方法(延べ件数)
表3-9 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた訪問先(延べ件数)	図3-9 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた訪問先(延べ件数)
表3-10 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた相談種別(延べ件数)	図3-10 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた相談種別(延べ件数)
表3-11-1 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた治療上の問題内訳(延べ件数)	図3-11 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた治療・生活・社会復帰の問題(延べ件数)
表3-11-2 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた生活上の問題内訳(延べ件数)	
表3-11-3 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた社会復帰の問題内訳(延べ件数)	
表3-12 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた担当者(延べ件数)	図3-12 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた担当者(延べ件数)

表4 県保健所における精神保健福祉相談の経年変化	図4 県保健所における精神保健福祉相談の経年変化
表4 県域保健所における精神保健福祉相談の経年変化	図4-1 県域保健所における性差の経年変化
	図4-2 県域保健所における年齢分布の経年変化
	図4-3 県域保健所における地域保健事業の経年変化
	図4-4 県域保健所における診断名の経年変化
	図4-5 県域保健所における状態像の経年変化
	図4-6 県域保健所における相談者の経年変化
	図4-7 県域保健所における援助方法の経年変化
	図4-8 県域保健所における相談種別の経年変化
	図4-9 県域保健所における担当者の経年変化

表1 案件数と延べ件数

表1-1 (重複なし)	合計	性別		
		男性	女性	不明
実数	2,185 100.0	1,060 48.5	1,114 51.0	11 0.5
延べ数	10,593 100.0	5,242 49.5	5,303 50.1	48 0.5
不明	12 100.0	3 25.0	3 25.0	6 50.0
合計	10,605 100.0	5,245 49.5	5,306 50.0	54 0.5

表1-2 (重複なし)	合計	年齢				
		24歳以下	25~44歳	45~64歳	65歳以上	不明
実数	2,185 100.0	249 11.4	836 38.3	498 22.8	314 14.4	288 13.2
延べ数	10,593 100.0	819 7.7	4,977 47.0	3,171 29.9	1,160 11.0	466 4.4
不明	12 100.0	0 0.0	1 8.3	2 16.7	0 0.0	9 75.0
合計	10,605 100.0	819 7.7	4,978 46.9	3,173 29.9	1,160 10.9	475 4.5

表1-3 (重複なし)	合計	地域保健事業報告							
		老人保健	社会復帰	アルコール	薬物	思春期	心の健康	その他	不明
実数	2,185 100.0	247 11.3	325 14.9	132 6.0	29 1.3	48 2.2	280 12.8	1,123 51.4	1 0.0
延べ数	10,593 100.0	800 7.6	2,584 24.4	367 3.5	88 0.8	94 0.9	849 8.0	5,803 54.8	8 0.1
不明	12 100.0	1 8.3	0 0.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3	9 75.0
合計	10,605 100.0	801 7.6	2,584 24.4	368 3.5	88 0.8	94 0.9	849 8.0	5,804 54.7	17 0.2

表1-4 (重複なし)	合計	診断名										
		器質性精神障害	薬剤性精神障害	統合失調症	感情障害	神経症性障害	人格障害	精神遅滞	その他	診断保留	異常なし	不明
実数	2,185 100.0	187 8.6	127 5.8	608 27.8	250 11.4	96 4.4	53 2.4	24 1.1	120 5.5	643 29.4	18 0.8	59 2.7
延べ数	10,593 100.0	837 7.9	483 4.6	5,452 51.5	956 9.0	440 4.2	459 4.3	175 1.7	315 3.0	1,326 12.5	35 0.3	115 1.1
不明	12 100.0	0 0.0	1 8.3	1 8.3	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	8 66.7
合計	10,605 100.0	837 7.9	484 4.6	5,453 51.4	957 9.0	440 4.1	459 4.3	175 1.7	316 3.0	1,326 12.5	35 0.3	123 1.2

表1-5 (重複あり)	合計	状態像									
		ひきこもり	人格障害的	子ども虐待	食生活上の問題	家庭内暴力	DV	老人虐待	うつ状態	その他	不明
実数	2,185 100.0	214 9.8	90 4.1	22 1.0	34 1.6	83 3.8	29 1.3	12 0.5	210 9.6	507 23.2	1,011 46.3
延べ数	10,593 100.0	705 6.7	686 6.5	119 1.1	152 1.4	232 2.2	65 0.6	46 0.4	656 6.2	2,147 20.3	5,898 55.7
不明	12 100.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3	10 83.3
合計	10,605 100.0	706 6.7	686 6.5	119 1.1	152 1.4	232 2.2	65 0.6	46 0.4	656 6.2	2,148 20.3	5,908 55.7

表1-6 (重複あり)	合計	被面接者					
		本人	家族	医療機関	関係機関職員	その他	不明
実数	2,185 100.0	846 38.7	1,039 47.6	159 7.3	438 20.0	102 4.7	7 0.3
延べ数	10,593 100.0	5,501 51.9	3,135 29.6	1,032 9.7	2,552 24.1	380 3.6	30 0.3
不明	12 100.0	6 50.0	4 33.3	0 0.0	5 41.7	0 0.0	1 8.3
合計	10,605 100.0	5,507 51.9	3,139 29.6	1,032 9.7	2,557 24.1	380 3.6	31 0.3

表1-7 (重複なし)	合計	援助方法				
		面接	電話	文書	訪問	不明
実数	2,185 100.0	853 39.0	1,106 50.6	7 0.3	199 9.1	20 0.9
延べ数	10,593 100.0	3,167 29.9	5,897 55.7	91 0.9	1,344 12.7	94 0.9
不明	12 100.0	4 33.3	6 50.0	0 0.0	2 16.7	0 0.0
合計	10,605 100.0	3,171 29.9	5,903 55.7	91 0.9	1,346 12.7	94 0.9

表1-8 (重複あり)	合計	訪問先					
		家庭	社会復帰施設・作業所	居住生活支援事業所	医療機関	その他	不明
実数	199 100.0	121 60.8	15 7.5	1 0.5	29 14.6	42 21.1	4 2.0
延べ数	1,344 100.0	791 58.9	191 14.2	1 1.1	201 15.0	179 13.3	22 1.6
不明	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
合計	1,346 100.0	792 58.8	192 14.3	15 1.1	201 14.9	180 13.4	22 1.6

表1-9 (重複なし)	合計	相談種別					
		治療上の問題	生活上の問題	社会復帰問題	心の健康問題	その他	不明
実数	2,185 100.0	806 36.9	717 32.8	433 19.8	90 4.1	135 6.2	4 0.2
延べ数	10,593 100.0	2,587 24.4	4,114 38.8	2,652 25.0	528 5.0	703 6.6	9 0.1
不明	12 100.0	4 33.3	4 33.3	3 25.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3
合計	10,605 100.0	2,591 24.4	4,118 38.8	2,655 25.0	528 5.0	703 6.6	10 0.1

表1-10-1 (重複あり)	合計	治療上の問題		
		診断に関する相談	医療利用上の問題	不明
実数	806 100.0	295 36.6	668 82.9	16 2.0
延べ数	2,587 100.0	722 27.9	2,247 86.9	67 2.6
不明	4 100.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0
合計	2,591 100.0	723 27.9	2,250 86.8	67 2.6

表1-10-2 (重複あり)	合計	生活上の問題						
		生活上の問題	家族等の対応	経済的な問題	住居の問題	就労・就学の問題	社会的問題	不明
実数	717 100.0	391 54.5	306 42.7	122 17.0	45 6.3	54 7.5	101 14.1	34 4.7
延べ数	4,114 100.0	2,813 68.4	1,257 30.6	664 16.1	358 8.7	261 6.3	414 10.1	118 2.9
不明	4 100.0	3 75.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
合計	4,118 100.0	2,816 68.4	1,258 30.5	665 16.1	358 8.7	261 6.3	414 10.1	118 2.9

	合計	社会復帰の問題							
		社会復帰・施設	ホームヘルプ	ショートステイ	グループホーム	社会適応訓練	通院医療費	手帳	不明
実数	433	183	46	4	8	20	117	146	8
	100.0	42.3	10.6	0.9	1.8	4.6	27.0	33.7	1.8
延べ数	2,652	1,380	516	96	118	99	269	457	55
	100.0	52.0	19.5	3.6	4.4	3.7	10.1	17.2	2.1
不明	3	1	1	0	0	0	1	1	0
	100.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
合計	2,655	1,381	517	96	118	99	270	458	55
	100.0	52.0	19.5	3.6	4.4	3.7	10.2	17.3	2.1

	合計	担当者					
		医師・嘱託医	福祉職	保健師	事務職	その他	不明
実数	2,185	77	1,560	609	60	57	35
	100.0	3.5	71.4	27.9	2.7	2.6	1.6
延べ数	10,593	279	7,952	2,670	145	328	153
	100.0	2.6	75.1	25.2	1.4	3.1	1.4
不明	12	0	6	5	3	0	0
	100.0	0.0	41.7	41.7	25.0	0.0	0.0
合計	10,605	279	7,957	2,675	148	328	153
	100.0	2.6	75.0	25.2	1.4	3.1	1.4

表2 自治体の形態別にみた相談ニーズ差(6区分)

	合計	性別		
		男性	女性	不明
県域保健所	420	222	198	0
	100	52.9	47.1	0.0
横須賀市	130	50	80	0
	100	38.5	61.5	0.0
相模原市	107	59	48	0
	100	55.1	44.9	0.0
横浜市	1012	500	503	9
	100	49.4	49.7	0.9
川崎市	245	109	136	0
	100	44.5	55.5	0.0
県城市町村	271	120	149	2
	100	44.3	55	0.7
合計	2185	1060	1114	11
	100	48.5	51	0.5

	合計	年齢				
		24歳以下	25~44歳	45~64歳	65歳以上	不明
県域保健所	420	50	138	86	98	48
	100	11.9	32.9	20.5	23.3	11.4
横須賀市	130	23	59	32	10	6
	100	17.7	45.4	24.6	7.7	4.6
相模原市	107	16	49	16	17	9
	100	15	45.8	15	15.9	8.4
横浜市	1012	98	385	247	122	160
	100	9.7	38	24.4	12.1	15.8
川崎市	245	39	125	57	21	3
	100	15.9	51	23.3	8.6	1.2
県城市町村	271	23	80	60	46	62
	100	8.5	29.5	22.1	17	22.9
合計	2185	249	836	498	314	288
	100	11.4	38.3	22.8	14.4	13.2

	合計	地域保健事業報告							
		老人保健	社会復帰	アルコール	薬物	思春期	心の健康づくり	その他	不明
県域保健所	420	84	36	31	3	7	63	196	0
	100	20	8.6	7.4	0.7	1.7	15	46.7	0.0
横須賀市	130	4	57	5	2	4	44	14	0
	100	3.1	43.8	3.8	1.5	3.1	33.8	10.8	0.0
相模原市	107	15	8	4	3	5	13	59	0
	100	14	7.5	3.7	2.8	4.7	12.1	55.1	0.0
横浜市	1012	82	100	70	14	24	93	629	0
	100	8.1	9.9	6.9	1.4	2.4	9.2	62.2	0.0
川崎市	245	12	68	12	6	4	32	111	0
	100	4.9	27.8	4.9	2.4	1.6	13.1	45.3	0.0
県城市町村	271	50	56	10	1	4	35	114	1
	100	18.5	20.7	3.7	0.4	1.5	12.9	42.1	0.4
合計	2185	247	325	132	29	48	280	1123	1
	100	11.3	14.9	6	1.3	2.2	12.8	51.4	0

	合計	診断名										
		器質性精神障害	薬剤性精神障害	統合失調症圏	感情障害	神経症性障害	人格障害	精神遅滞	その他	診断保留	異常なし	不明
県域保健所	420	69	31	105	40	24	13	4	38	88	6	2
	100	16.4	7.4	25	9.5	5.7	3.1	1	9	21	1.4	0.5
横須賀市	130	3	6	42	21	6	5	1	1	40	4	1
	100	2.3	4.6	32.3	16.2	4.6	3.8	0.8	0.8	30.8	3.1	0.8
相模原市	107	11	5	36	11	3	4	3	10	17	1	6
	100	10.3	4.7	33.6	10.3	2.8	3.7	2.8	9.3	15.9	0.9	5.6
横浜市	1012	61	66	265	113	40	17	11	46	390	3	0
	100	6	6.5	26.2	11.2	4	1.7	1.1	4.5	38.5	0.3	0.0
川崎市	245	9	12	83	30	12	11	3	14	58	2	11
	100	3.7	4.9	33.9	12.2	4.9	4.5	1.2	5.7	23.7	0.8	4.5
県城市町村	271	34	7	77	35	11	3	2	11	50	2	39
	100	12.5	2.6	28.4	12.9	4.1	1.1	0.7	4.1	18.5	0.7	14.4
合計	2185	187	127	608	250	96	53	24	120	643	18	59
	100	8.6	5.8	27.8	11.4	4.4	2.4	1.1	5.5	29.4	0.8	2.7

	合計	状態像									
		ひきこもり	人格障害	子ども虐待	食生活上の問題	家庭内暴力	DV	老人虐待	うつ状態	その他	不明
県域保健所	420	48	29	9	5	20	8	0	34	118	157
	100	11.4	6.9	2.1	1.2	4.8	1.9	0.0	8.1	28.1	37.4
横須賀市	130	25	9	2	3	1	0	5	11	22	52
	100	19.2	6.9	1.5	2.3	0.8	0.0	3.8	8.5	16.9	40
相模原市	107	6	8	1	1	6	2	1	5	45	35
	100	5.6	7.5	0.9	0.9	5.6	1.9	0.9	4.7	42.1	32.7
横浜市	1012	71	17	4	11	40	13	1	118	110	627
	100	7	1.7	0.4	1.1	4	1.3	0.1	11.7	10.9	62
川崎市	245	29	12	3	3	9	3	0	17	102	67
	100	11.8	4.9	1.2	1.2	3.7	1.2	0.0	6.9	41.6	27.3
県城市町村	271	35	15	3	11	7	3	5	25	110	73
	100	12.9	5.5	1.1	4.1	2.6	1.1	1.8	9.2	40.6	26.9
合計	2185	214	90	22	34	83	29	12	210	507	1011
	100	9.8	4.1	1	1.6	3.8	1.3	0.5	9.6	23.2	46.3

表2-6 (重複あり)	合計	被面接者					
		本人	家族	医療機関	関係機関 職員	その他	不明
県域保健所	420 100	118 28.1	215 51.2	23 5.5	101 24	18 4.3	0 0.0
横須賀市	130 100	76 58.5	49 37.7	5 3.8	22 16.9	4 3.1	0 0.0
相模原市	107 100	32 29.9	49 45.8	5 4.7	33 30.8	7 6.5	0 0.0
横浜市	1012 100	399 39.4	490 48.4	86 8.5	201 19.9	40 4	1 0.1
川崎市	245 100	93 38	114 46.5	26 10.6	48 19.6	23 9.4	4 1.6
県城市町村	271 100	128 47.2	122 45	14 5.2	33 12.2	10 3.7	2 0.7
合計	2185 100	846 38.7	1039 47.6	159 7.3	438 20	102 4.7	7 0.3

表2-7 (重複なし)	合計	援助方法				
		面接	電話	文書	訪問	不明
県域保健所	420 100	99 23.6	261 62.1	1 0.2	59 14	0 0.0
横須賀市	130 100	42 32.3	69 53.1	0 0.0	19 14.6	0 0.0
相模原市	107 100	32 29.9	68 63.6	0 0.0	7 6.5	0 0.0
横浜市	1012 100	455 45	502 49.6	3 0.3	52 5.1	0 0.0
川崎市	245 100	101 41.2	97 39.6	1 0.4	29 11.8	17 6.9
県城市町村	271 100	124 45.8	109 40.2	2 0.7	33 12.2	3 1.1
合計	2185 100	853 39	1106 50.6	7 0.3	199 9.1	20 0.9

表2-8 (重複あり)	合計	訪問先					
		家庭	社会復帰 施設・作 業所	居住生活 支援事業 所	医療機関	その他	不明
県域保健所	59 100	39 66.1	1 1.7	0 0.0	1 1.7	16 27.1	2 3.4
横須賀市	19 100	14 73.7	1 5.3	0 0.0	3 15.8	1 5.3	0 0.0
相模原市	7 100	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 42.9	2 28.6
横浜市	52 100	23 44.2	8 15.4	0 0.0	19 36.5	14 26.9	0 0.0
川崎市	29 100	17 58.6	3 10.3	1 3.4	2 6.9	7 24.1	0 0.0
県城市町村	33 100	26 78.8	2 6.1	0 0.0	4 12.1	1 3	0 0.0
合計	199 100	121 60.8	15 7.5	1 0.5	29 14.6	42 21.1	4 2

表2-9 (重複なし)	合計	相談種別					
		治療上の 問題	生活上の 問題	社会復帰 問題	心の健康 問題	その他	不明
県域保健所	420 100	188 44.8	149 35.5	35 8.3	13 3.1	34 8.1	1 0.2
横須賀市	130 100	28 21.5	46 35.4	33 25.4	19 14.6	4 3.1	0 0.0
相模原市	107 100	64 59.8	26 24.3	12 11.2	2 1.9	3 2.8	0 0.0
横浜市	1012 100	398 39.3	301 29.7	259 25.6	31 3.1	23 2.3	0 0.0
川崎市	245 100	90 36.7	88 35.9	49 20	4 1.6	13 5.3	1 0.4
県城市町村	271 100	38 14	107 39.5	45 16.6	21 7.7	58 21.4	2 0.7
合計	2185 100	806 36.9	717 32.8	433 19.8	90 4.1	135 6.2	4 0.2

表2-10-1 (重複あり)	合計	治療上の問題		
		診断に 関する 相談	医療利用 上の問題	不明
県域保健所	188 100	67 35.6	131 69.7	1 0.5
横須賀市	28 100	3 10.7	22 78.6	3 10.7
相模原市	64 100	22 34.4	41 64.1	8 12.5
横浜市	398 100	169 42.5	374 94	1 0.3
川崎市	90 100	26 28.9	70 77.8	3 3.3
県城市町村	38 100	8 21.1	30 78.9	0 0.0
合計	806 100	295 36.6	668 82.9	16 2

表2-10-2 (重複あり)	合計	生活上の問題						
		生活上の 問題	家族等の 対応	経済的な 問題	住居の問 題	就労・就 学の問題	社会的問 題	不明
県域保健所	149 100	72 48.3	57 38.3	13 8.7	2 1.3	9 6	25 16.8	1 0.7
横須賀市	46 100	34 73.9	12 26.1	4 8.7	0 0.0	0 0.0	7 15.2	5 10.9
相模原市	26 100	9 34.6	7 26.9	4 15.4	1 3.8	2 7.7	2 7.7	4 15.4
横浜市	301 100	185 61.5	148 49.2	79 26.2	31 10.3	31 10.3	44 14.6	5 1.7
川崎市	88 100	37 42	44 50	6 6.8	4 4.5	4 4.5	13 14.8	4 4.5
県城市町村	107 100	54 50.5	38 35.5	16 15	7 6.5	8 7.5	10 9.3	15 14
合計	717 100	391 54.5	306 42.7	122 17	45 6.3	54 7.5	101 14.1	34 4.7

表2-10-3 (重複あり)	合計	社会復帰の問題							
		社会復 帰・施設	ホーム ヘル プ	ショ ート ステ イ	グル ープ ホーム	社会適 応 訓練	通院医 療 費	手帳	不明
県域保健所	35 100	28 80	1 2.9	1 2.9	0 0.0	1 2.9	1 2.9	2 5.7	1 2.9
横須賀市	33 100	16 48.5	16 48.5	1 3	0 0.0	0 0.0	2 6.1	0 0.0	2 6.1
相模原市	12 100	8 66.7	3 25	0 0.0	0 0.0	1 8.3	1 8.3	0 0.0	0 0.0
横浜市	259 100	93 35.9	13 5	1 0.4	6 2.3	1 0.4	89 34.4	109 42.1	1 0.4
川崎市	49 100	28 57.1	3 6.1	0 0.0	1 2	17 34.7	8 16.3	13 26.5	3 6.1
県城市町村	45 100	10 22.2	10 22.2	1 2.2	1 2.2	0 0.0	16 35.6	22 48.9	1 2.2
合計	433 100	183 42.3	46 10.6	4 0.9	8 1.8	20 4.6	117 27	146 33.7	8 1.8

表2-11 (重複あり)	合計	担当者					
		医師・嘱 託医	福祉職	保健師	事務職	その他	不明
県域保健所	420 100	34 8.1	280 66.7	143 34	2 0.5	1 0.2	0 0.0
横須賀市	130 100	0 0.0	6 4.6	95 73.1	14 10.8	0 0.0	15 11.5
相模原市	107 100	3 2.8	41 38.3	56 52.3	0 0.0	0 0.0	12 11.2
横浜市	1012 100	23 2.3	996 98.4	52 5.1	0 0.0	37 3.7	0 0.0
川崎市	245 100	8 3.3	192 78.4	62 25.3	4 1.6	3 1.2	4 1.6
県城市町村	271 100	9 3.3	45 16.6	201 74.2	40 14.8	16 5.9	4 1.5
合計	2185 100	77 3.5	1560 71.4	609 27.9	60 2.7	57 2.6	35 1.6

表3 市町村、県保健福祉事務所、地域生活支援センターでの相談状況

	合計	性別		
		男性	女性	不明
市町村	349	126	222	1
100	36.1	63.6	0.3	
鎌倉足柄管内	246	128	116	2
100	52	47.2	0.8	
生活支援センター	421	242	179	-
100	57.5	42.5	-	

	合計	年齢				
		24歳以下	25~44歳	45~64歳	65歳以上	不明
市町村	349	11	106	56	154	22
100	3.2	30.4	16	44.1	6.3	
鎌倉足柄管内	246	7	85	63	86	5
100	2.8	34.6	25.6	35	2	
生活支援センター	421	22	233	94	13	59
100	5.2	55.3	22.3	3.1	14	

	合計	地域保健事業報告							
		老人保健	社会復帰	アルコール	薬物	思春期	心の健康	その他	不明
市町村	349	144	35	21	1	4	10	134	-
100	41.3	10	6	0.3	1.1	2.9	38.4	-	
鎌倉足柄管内	246	75	34	3	1	4	128	-	
100	30.5	13.8	1.2	0.4	0.4	1.6	52	-	
生活支援センター	421	1	147	-	-	5	3	217	48
100	0.2	34.9	-	-	1.2	0.7	51.5	11.4	

	合計	把握区分			
		把握新	年度新	再	不明
市町村	349	47	28	274	-
100	13.5	8	78.5	-	
鎌倉足柄管内	246	25	24	197	-
100	10.2	9.8	80.1	-	
生活支援センター	421	15	13	391	2
100	3.6	3.1	92.9	0.5	

	合計	診断名										
		器質性精	薬剤性精	統合失調	感情障害	神経症性	人格障害	精神遅滞	その他	診断保留	異常なし	不明
市町村	349	65	19	129	52	29	5	1	16	22	2	9
100	18.6	5.4	37	14.9	8.3	1.4	0.3	4.6	6.3	0.6	2.6	
鎌倉足柄管内	246	70	3	119	19	10	2	5	4	11	-	3
100	28.5	1.2	48.4	7.7	4.1	0.8	2	1.6	4.5	-	1.2	
生活支援センター	421	6	5	308	5	17	-	14	-	-	9	57
100	1.4	1.2	73.2	1.2	4	-	3.3	-	-	-	2.1	13.5

	合計	状態像									
		ひきこも	人格障害	子ども虐	食生活上	家庭内暴	DV	老人虐待	うつ状態	その他	不明
市町村	349	58	64	2	30	-	1	-	31	166	6
100	16.6	18.3	0.6	8.6	-	0.3	-	8.9	47.6	1.7	
鎌倉足柄管内	246	11	10	2	-	2	-	11	35	175	
100	4.5	4.1	0.8	-	0.8	-	-	4.5	14.2	71.1	
生活支援センター	421	-	-	-	-	-	-	1	1	419	
100	-	-	-	-	-	-	-	0.2	0.2	99.5	

	合計	被面接者					
		本人	家族	医療機関	関係機関	その他	不明
市町村	349	164	88	24	106	28	1
100	47	25.2	6.9	30.4	8	0.3	
鎌倉足柄管内	246	86	93	28	76	13	-
100	35	37.8	11.4	30.9	5.3	-	
生活支援センター	421	391	16	1	13	8	-
100	92.9	3.8	0.2	3.1	1.9	-	

	合計	援助方法				
		面接	電話	文書	訪問	不明
市町村	349	107	155	7	78	2
100	30.7	44.4	2	22.3	0.6	
鎌倉足柄管内	246	33	143	12	58	-
100	13.4	58.1	4.9	23.6	-	
生活支援センター	421	149	259	-	13	-
100	35.4	61.5	-	3.1	-	

	合計	訪問先					
		家庭	社会復帰	居住生活	医療機関	その他	不明
市町村	78	66	2	1	7	4	-
100	84.6	2.6	1.3	9	5.1	-	
鎌倉足柄管内	58	40	2	4	11	2	
100	69	3.4	-	6.9	19	3.4	
生活支援センター	13	6	3	-	-	4	
100	46.2	23.1	-	-	-	30.8	

	合計	相談種別					
		治療上の	生活上の	社会復帰	心の健康	その他	不明
市町村	349	53	228	16	17	34	1
100	15.2	65.3	4.6	4.9	9.7	0.3	
鎌倉足柄管内	246	63	149	29	1	4	-
100	25.6	60.6	11.8	0.4	1.6	-	
生活支援センター	421	60	279	29	-	53	-
100	14.3	66.3	6.9	-	12.6	-	

	合計	治療上の問題		
		診断に関	医療利用	不明
市町村	53	17	37	-
100	32.1	69.8	-	
鎌倉足柄管内	63	5	59	-
100	7.9	93.7	-	
生活支援センター	60	8	49	3
100	13.3	81.7	5	

	合計	生活上の問題						
		生活上の	家族等の	経済的な	住居の間	就労・就	社会的問	不明
市町村	228	166	79	50	29	13	41	4
100	72.8	34.6	21.9	12.7	5.7	18	18	1.8
鎌倉足柄管内	149	118	64	8	6	-	12	-
100	79.2	43	5.4	4	-	-	8.1	-
生活支援センター	279	250	10	6	-	10	2	2
100	89.6	3.6	2.2	-	3.6	0.7	0.7	

	合計	社会復帰の問題						
		社会復帰	ホームペ	ショート	グループ	社会適応	通院医療	手帳
市町村	16	10	-	-	-	-	3	4
100	62.5	-	-	-	-	-	18.8	25
鎌倉足柄管内	29	17	1	3	7	1	-	-
100	58.6	3.4	10.3	24.1	3.4	-	-	-
生活支援センター	29	25	-	-	1	2	-	1
100	86.2	-	-	3.4	6.9	-	-	3.4

	合計	担当者					
		医師・嘱	福祉職	保健師	事務職	その他	不明
市町村	349	3	26	311	39	20	2
100	0.9	7.4	89.1	11.2	5.7	0.6	
鎌倉足柄管内	246	6	138	114	1	-	-
100	2.4	56.1	46.3	0.4	-	-	
生活支援センター	421	-	350	29	5	66	-
100	-	83.1	6.9	1.2	15.7	-	

表4 県保健福祉事務所における相談業務の経年変化(平成12～16年)

		H12.12	1531	H13.12	1790	H14.12	1706	H15.12	1826	H16.12	1251	
性別	男	862	56%	994	56%	844	49%	847	46%	602	48%	
	女	669	44%	796	44%	862	51%	975	53%	644	51%	
		1531	100%	1790	100%	1706	100%	1822	100%	1252	100%	
年齢	1～9才					1		12	1%	4		
	10～19	71	5%	58	3%	63	4%	39	2%	29	3%	
	20～29	272	18%	329	18%	285	17%	251	14%	154	11%	
	30～39	407	27%	479	27%	460	27%	510	28%	316	23%	
	40～49	342	22%	355	20%	263	15%	257	14%	275	21%	
	50～59	232	15%	337	19%	357	21%	294	16%	189	14%	
	60～64	73	5%	80	4%	79	5%	69	4%	82	5%	
	65才以上	97	6%	115	6%	156	9%	315	17%	115	8%	
	不明	37	2%	37	2%	42	2%	79	4%	88	6%	
		1531	100%	1790	100%	1706	100%	1826	100%	1252	100%	
地域保健 事業報告	老人保健	60	4%	60	3%	98	6%	291	16%	78	6%	
	社会復帰	193	13%	188	11%	121	7%	227	12%	148	12%	
	アルコール	55	4%	96	5%	71	4%	55	3%	57	5%	
	薬物	18	1%	28	2%	15	1%	17	1%	15	1%	
	思春期	14	1%	18	1%	16	1%	18	1%	9	1%	
	心の健康づくり	20	1%	39	2%	19	1%	164	9%	71	6%	
	その他	1171	76%	1361	76%	1366	80%	1048	57%	874	70%	
			1531	100%	1790	100%	1706	100%	1826	100%	1252	100%
診断名	痴呆・老人性精神障害	15	4%	25	6%	85	5%	214	12%	55	4%	
	その他器質性精神障	6	2%	6	1%	26	2%	57	3%	31	2%	
	薬物性精神障害	30	8%	37	9%	112	7%	72	4%	63	5%	
	統合失調症	119	34%	133	31%	779	46%	793	43%	597	48%	
	分裂感情・その他	27	8%	43	10%	233	14%	58	3%	28	2%	
	躁うつ病	26	7%	46	11%	88	5%	121	7%	97	8%	
	神経症	28	8%	17	4%	92	5%	46	3%	60	5%	
	心因反応	0						22	1%	10	1%	
	人格障害	0						112	6%	47	4%	
	精神発達遅滞	0						23	1%	14	1%	
	その他	90	25%	97	23%	231	14%	70	4%	29	2%	
	診断保留	12	3%	16	4%	57	3%	216	12%	150	12%	
	異常と認めず	2	1%	8	2%	1	0%	10	1%	7	1%	
	不明	0	0		0%	2	0%	12	1%	63	5%	
		実 355	100%	実 433	100%	1706	100%	1826	100%	1251	100%	
状態像	身体合併症あり									143	100%	
	精神発達遅滞あり									48	4%	
			実 355	100%	実 433	100%	1706	100%	1826	100%	1251	100%
	ひきこもり					71	4%	157	9%	145	12%	
	性格上の問題					108	6%	180	10%	93	7%	
	子供虐待					34	2%	45	2%	44	4%	
	家庭内暴力					50	3%	55	3%	49	4%	
	DV							17	1%	4	0.3%	
	老人虐待							17	1%	6	0.5%	
	食生活上の問題					9		17	1%	21	2%	
	うつ状態									62	5%	
	希死念慮を伴うつ							112	6%	89	7%	
アディクション									70	6%		
近隣苦情									174	14%		
その他					2		522	29%	6	0.5%		
						1706	100%	1826	100%	1251	100%	
被相談者 (重複あり)	本人	722	47%	811	45%	649	19%	807	44%	516	41%	
	家族	552	36%	626	35%	602	69%	575	31%	425	34%	
	医療機関	394	26%	563	31%	565	1%	166	9%	107	9%	
	関係機関							436	24%	146	12%	
	その他	1	0%	73	4%	91	5%	77	4%	186	15%	
		延 1669	1531	延 2073	実 1790	延 1907	実 1706	延 2062	100%	1380	1251	
援助方法	所内面接	327	21%	353	20%	320	19%	330	18%	259	21%	
	電話	965	63%	1166	65%	1170	69%	1215	67%	818	65%	
	文書	19	1%	14	1%	14	1%	22	1%	6		
	訪問	220	14%	257	14%	202	12%	254	13%	169	9%	
			1531	100%	1790	100%		100%	1826	100%	1252	100%
相談種別	治療上の問題	181	51%	190	44%	213	45%	572	31%	419	33%	
	生活上の問題	88	25%	128	30%	154	32%	895	49%	546	44%	
	社会復帰の問題	37	10%	48	11%	40	8%	180	10%	128	10%	
	心の健康問題	0	0%			0	0%	40	2%	37	3%	
	その他	49	14%	67	15%	69	14%	138	8%	122	10%	
		355	100%	433	100%	476	100%	1826	100%	1252	100%	
担当者(重 複あり)	医師	68	4%	87	5%	77	5%	85	4%	45	4%	
	福祉職	1215	79%	1402	78%	1157	68%	1157	60%	806	64%	
	保健師	337	22%	403	23%	549	32%	679	35%	409	33%	
	事務	0		0		0		2		1		
	その他	0		7		10	1%	7		8		
	関係機関職員									62	5%	
		延 1620	実 1531	1899	100%	1793	100%	1930	100%	1331	1251	

図1-1 実数・延べ数別にみた性差

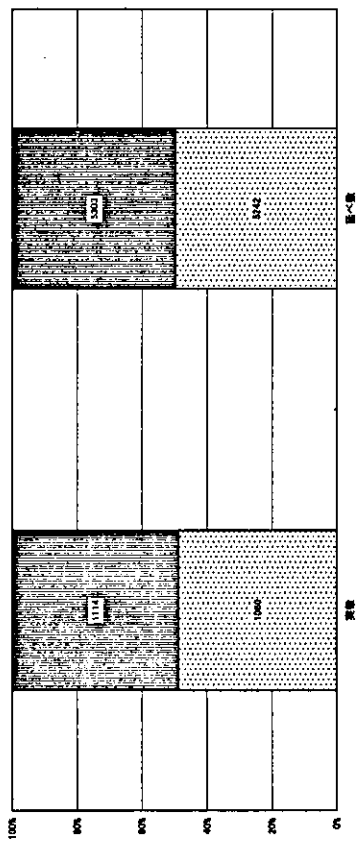


図1-3 実数・延べ数別にみた地域保健事業報告分類

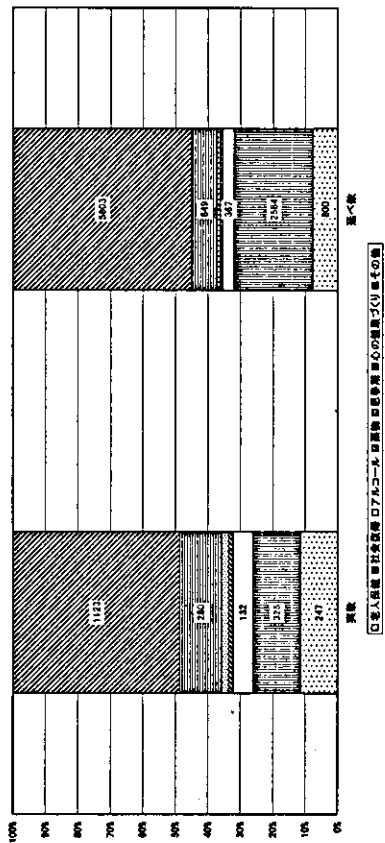


図1-2 実・延べ数別にみた年齢分布

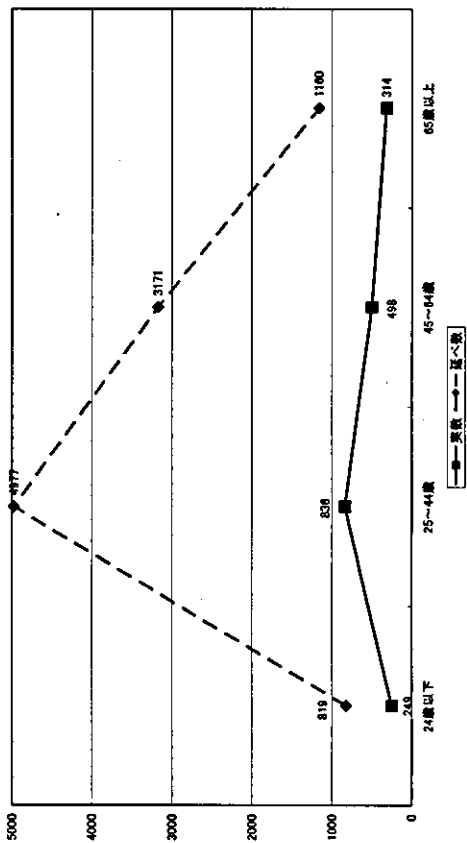


図1-4 実・延べ件数別にみた診断名

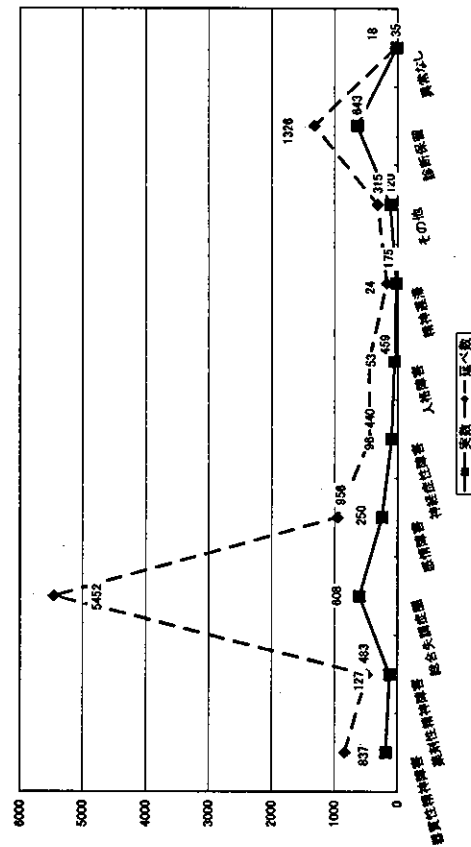


図1-5 実・延べ件数別にみた状態像

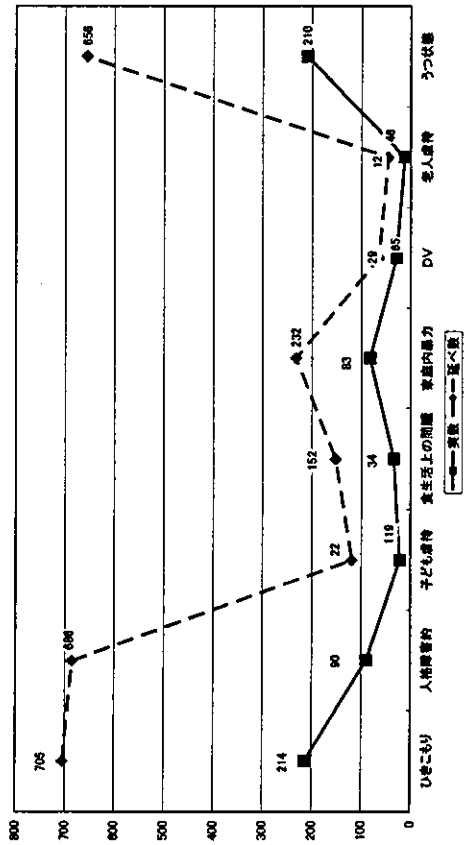


図1-6 実・延べ件数別にみた相談者

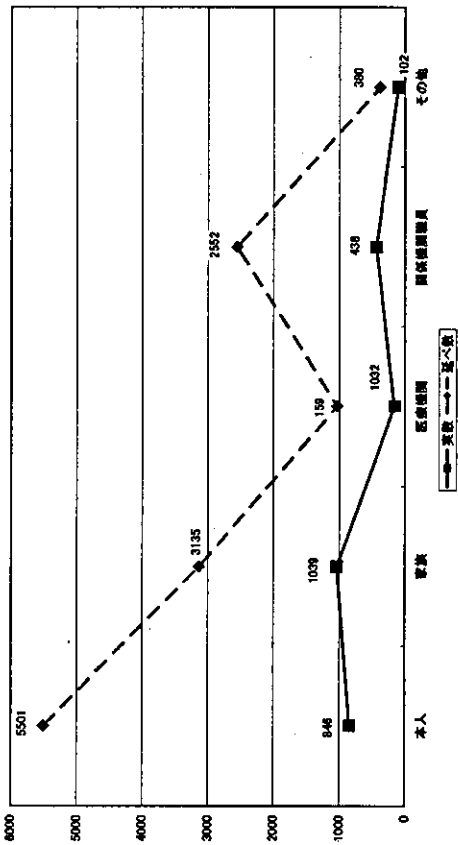


図1-7 実・延べ件数別にみた援助方法

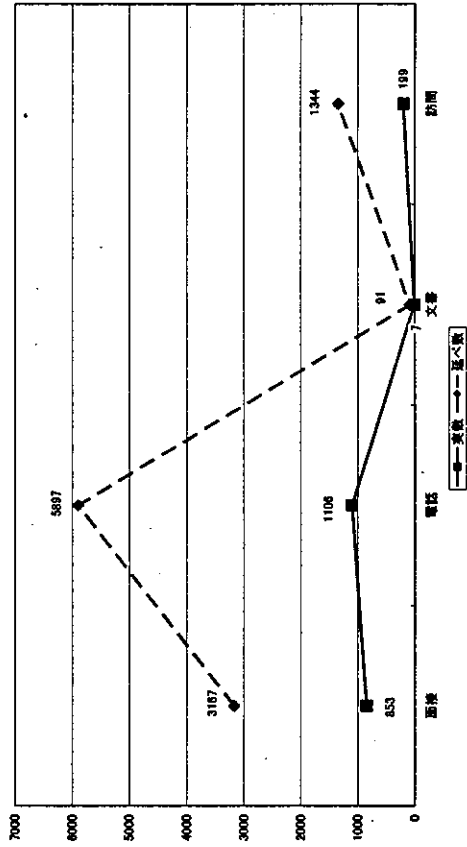


図1-8 実数・延べ数別にみた訪問先

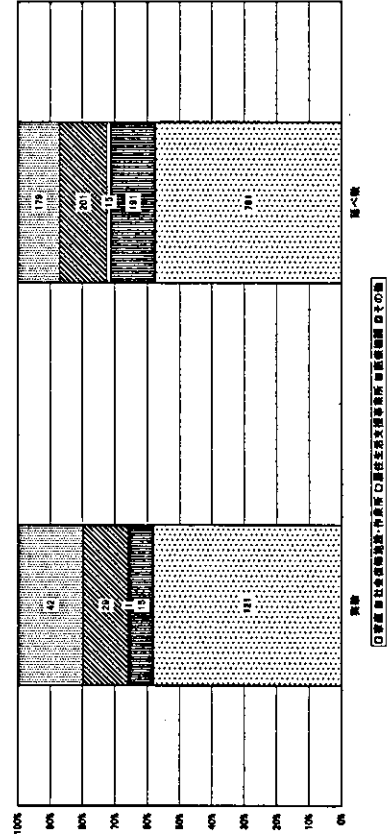


図1-9 実・延べ件数別にみた相談種別

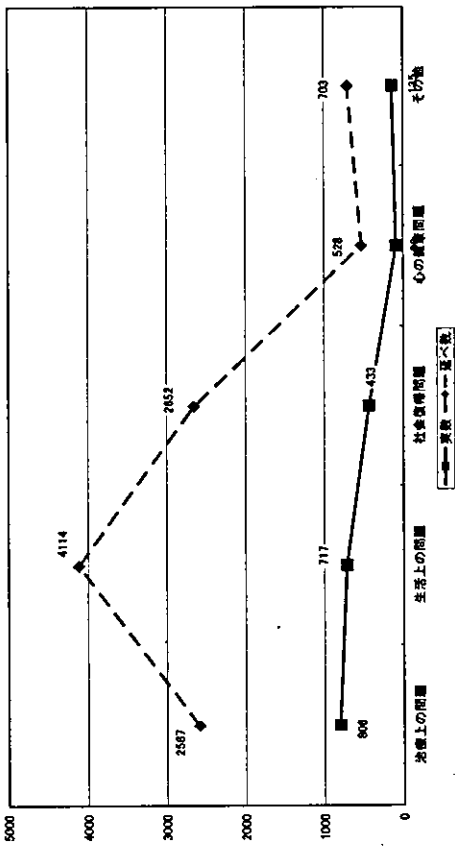
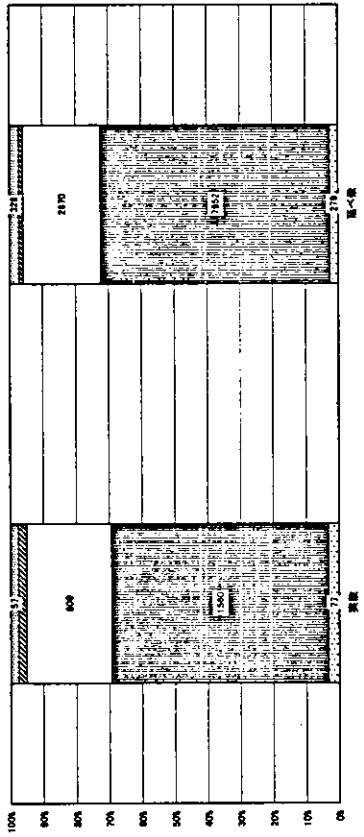


図1-11 実数・延べ数別にみた担当者



□ 担当A 担当B 担当C 担当D 担当E 担当F 担当G 担当H 担当I 担当J 担当K 担当L 担当M 担当N 担当O 担当P 担当Q 担当R 担当S 担当T 担当U 担当V 担当W 担当X 担当Y 担当Z

図1-10 実・延べ件数別にみた治療・生活・社会復帰上の問題

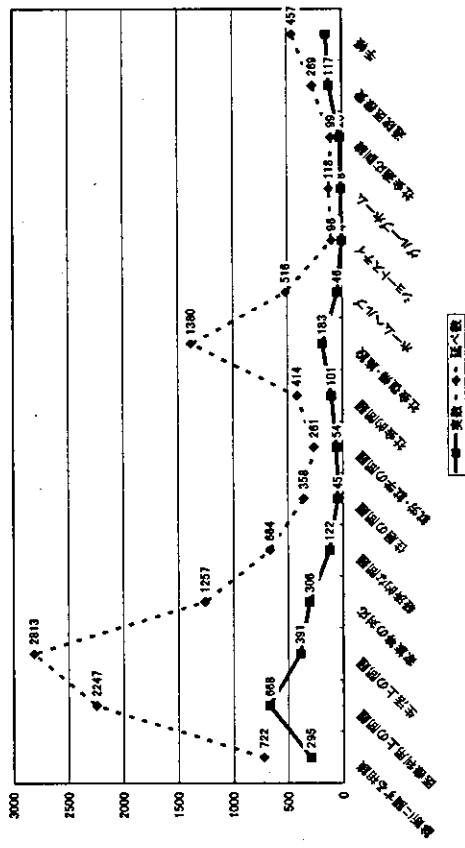


図2-1 自治体の形態別にみた性差(実件数)

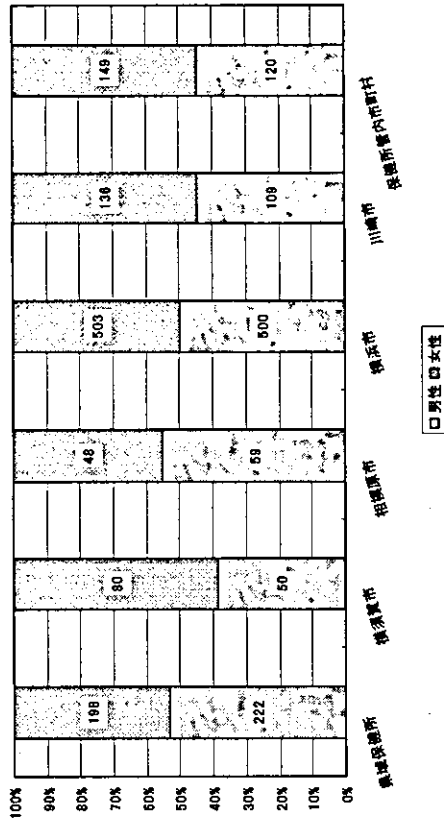


図2-2 自治体の形態別にみた年齢分布(実件数)

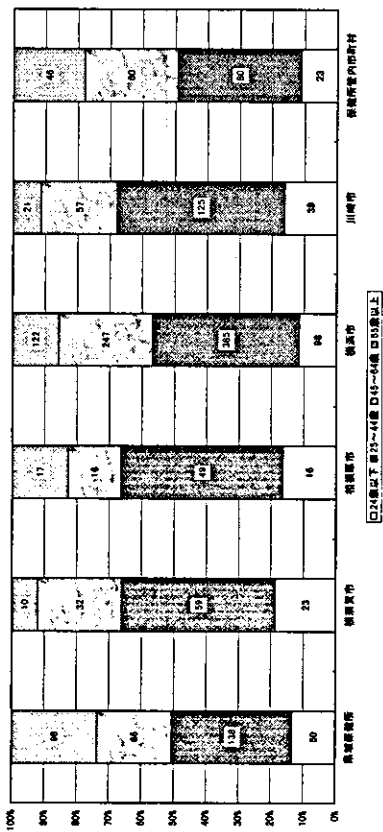


図2-4 自治体の形態別にみた診断名(実件数)

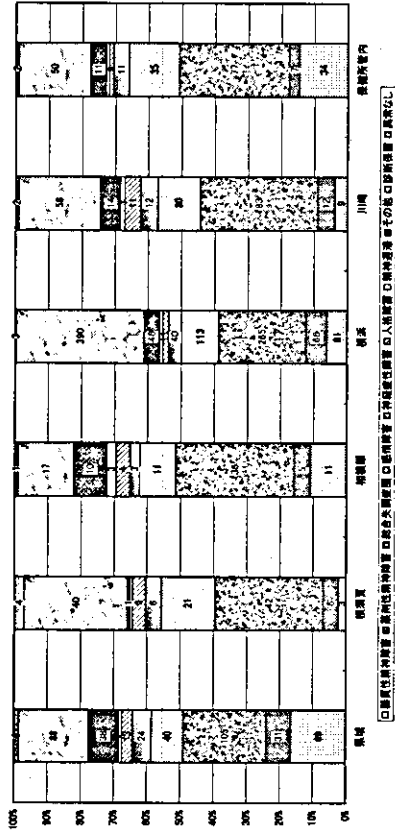


図2-3 自治体の形態別にみた地域保健事業報告分類(実件数)

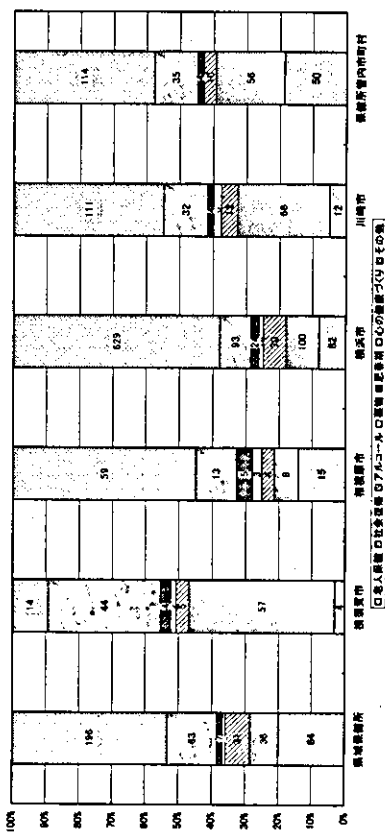


図2-5 自治体の形態別にみた状態像(実件数)

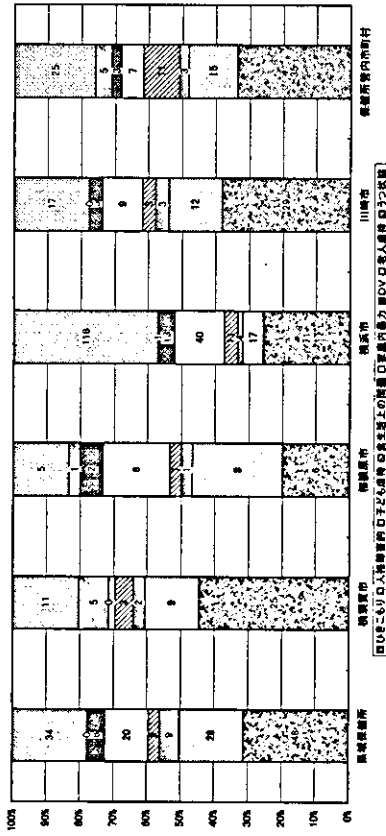


図2-6 自治体の形態別にみた相談者(案件数)

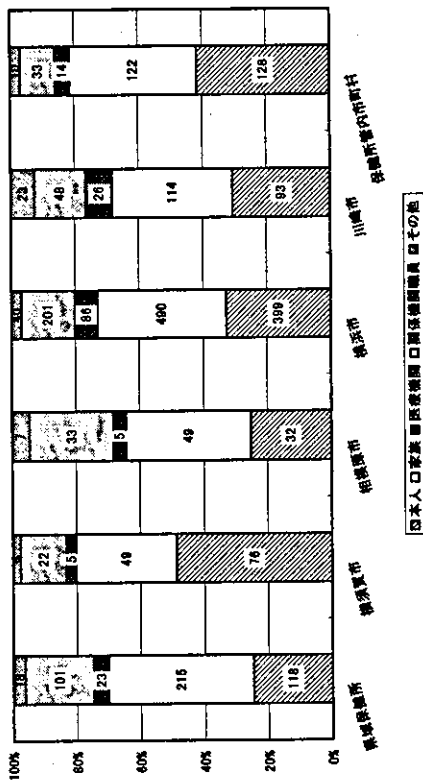


図2-7 自治体の形態別にみた援助方法(案件数)

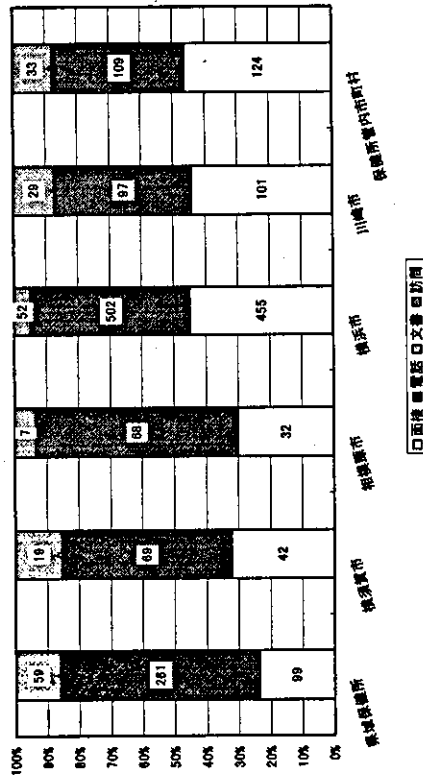


図2-8 地域別にみた訪問先(案件数)

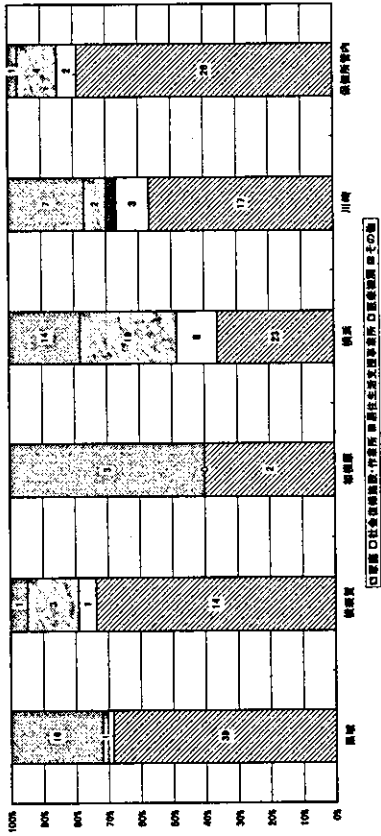


図2-9 自治体の形態別にみた相談種別(案件数)

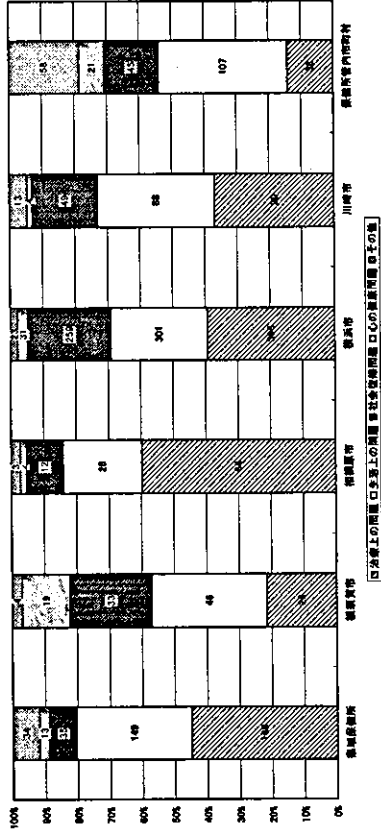


図2-10 自治体の形態別にみた治療・生活・社会復帰の問題

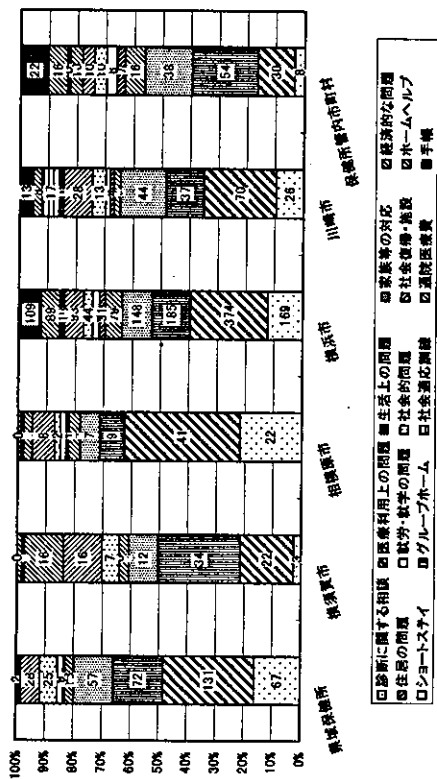


図3-1 市町村・県保健福祉事務所・生活支援センター別にみた性差

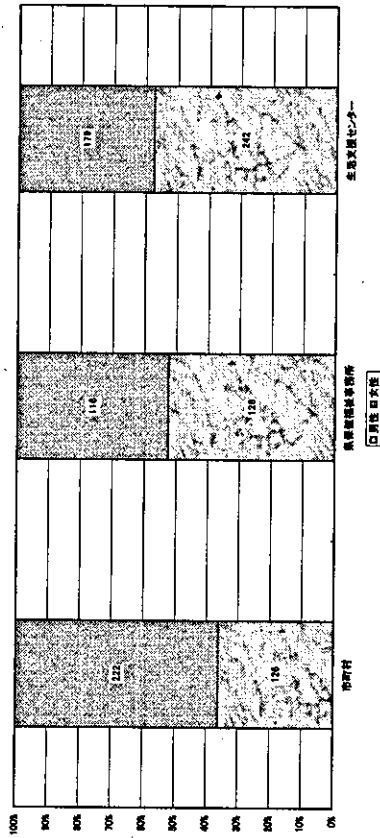


図2-11 地域別にみた担当者(案件数)

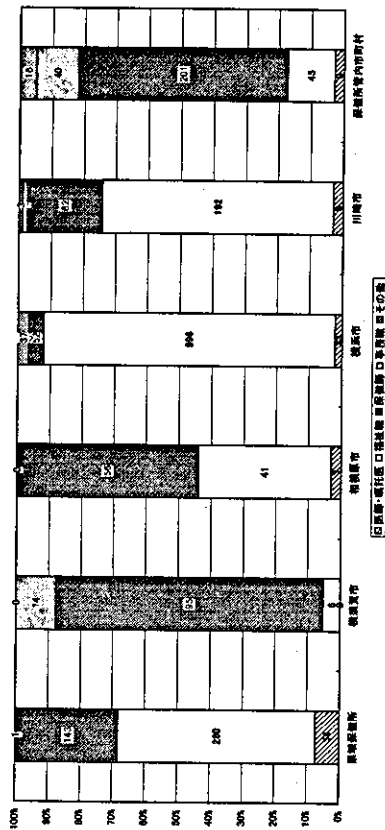


図3-2 市町村・県保健福祉事務所・生活支援センター別にみた年齢分布

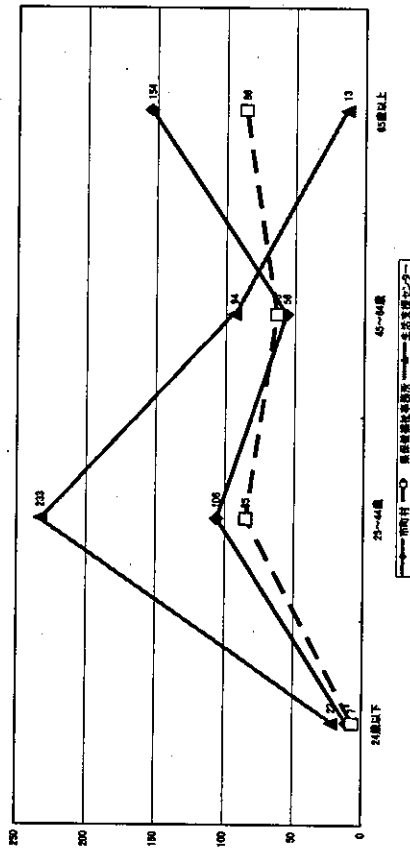


図3-3 市町村・県保健福祉事務所・生活支援センター別の地域保健事業

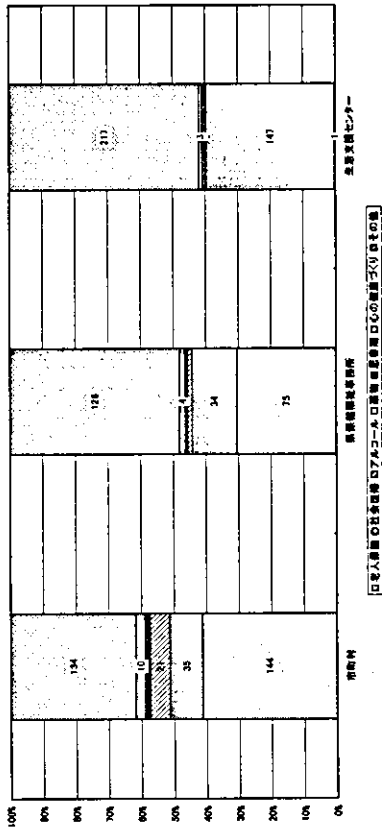


図3-4 市町村・県保健福祉事務所・生活支援センター別の把握区分

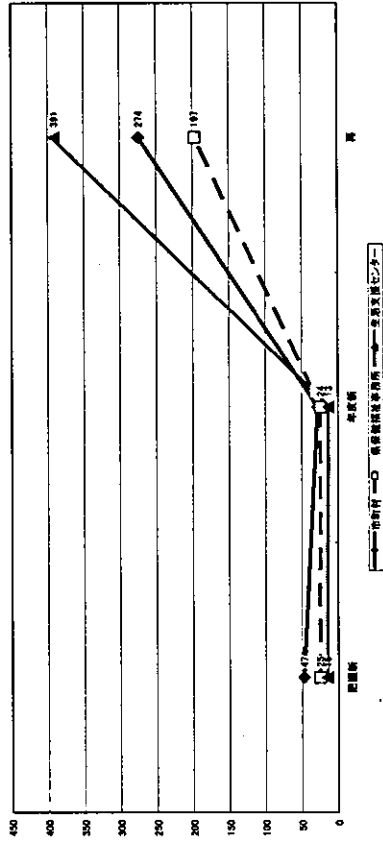


図3-5 市町村・県保健福祉事務所・生活支援センター別にみた診断名

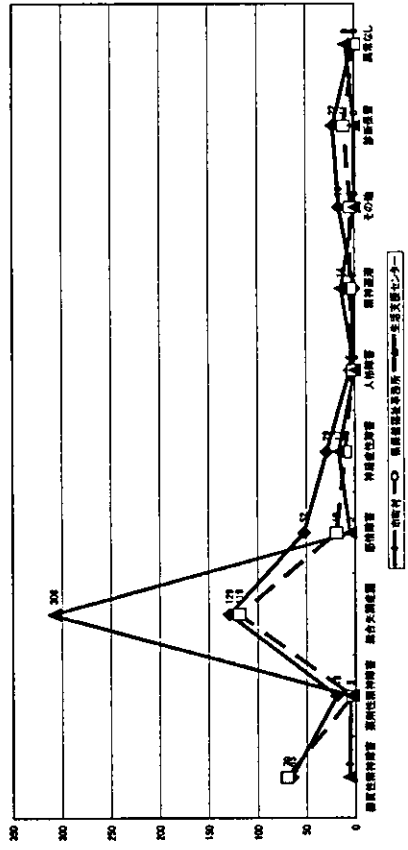


図3-6 市町村・県保健福祉事務所・生活支援センター別にみた状態像

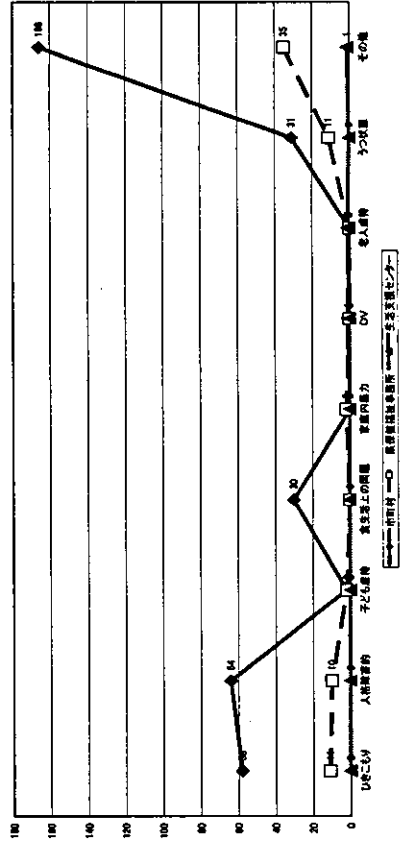


図3-7 市町村・県保健福祉事務所・生活支援センター別にみた相談者

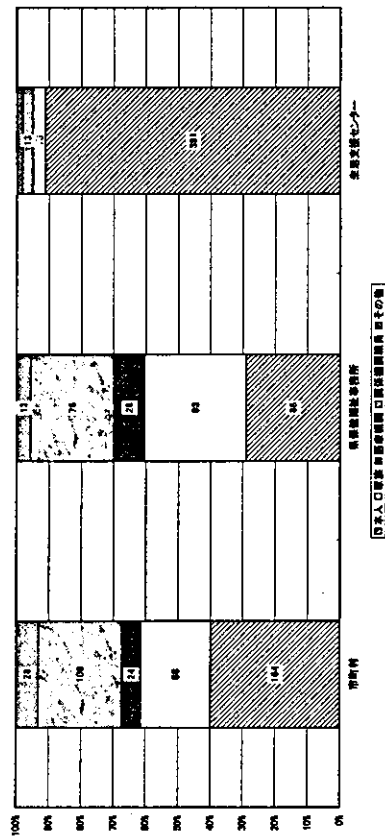


図3-9 市町村・県保健福祉事務所・生活支援センター別にみた訪問先

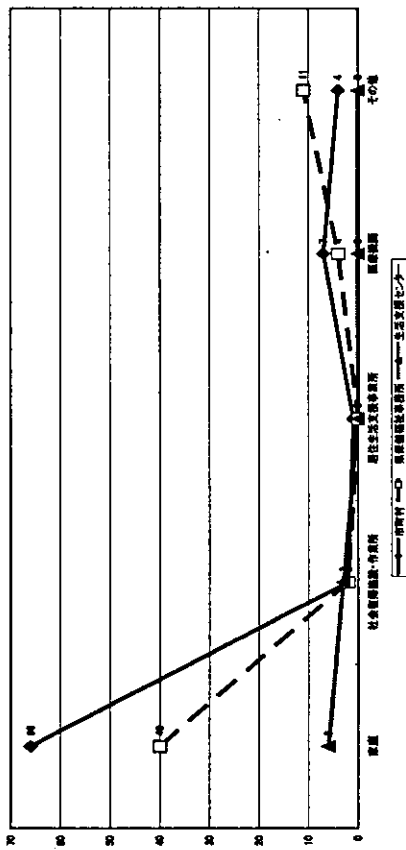


図3-8 市町村・県保健福祉事務所・生活支援センター別にみた援助方法

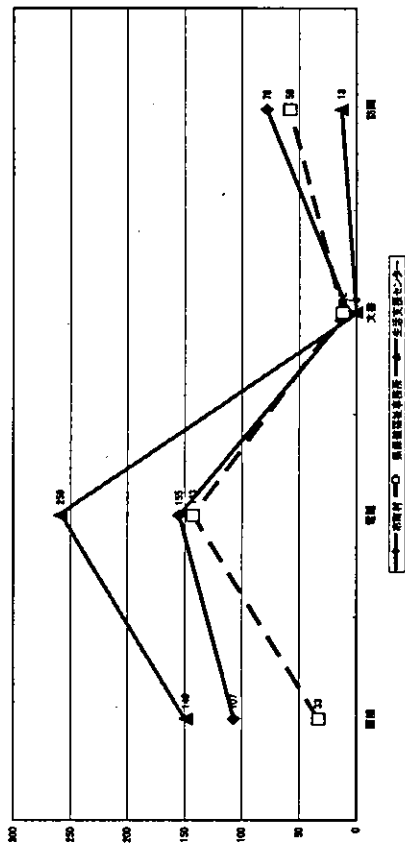


図3-10 市町村・県保健福祉事務所・生活支援センター別にみた相談種別

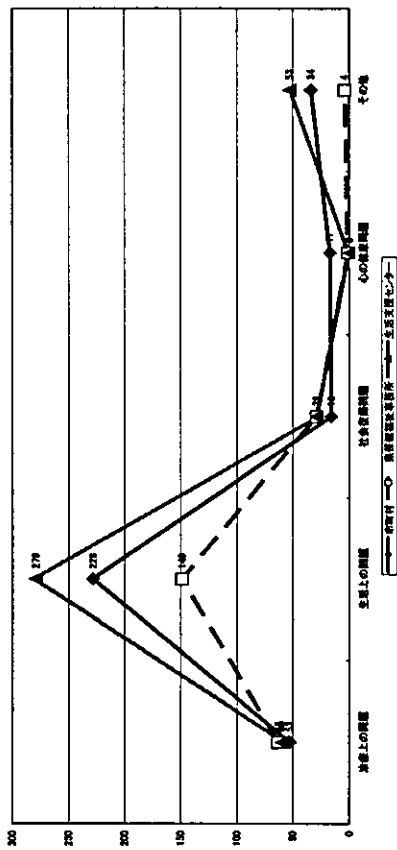


図4-1 県保健所における性差の経年変化

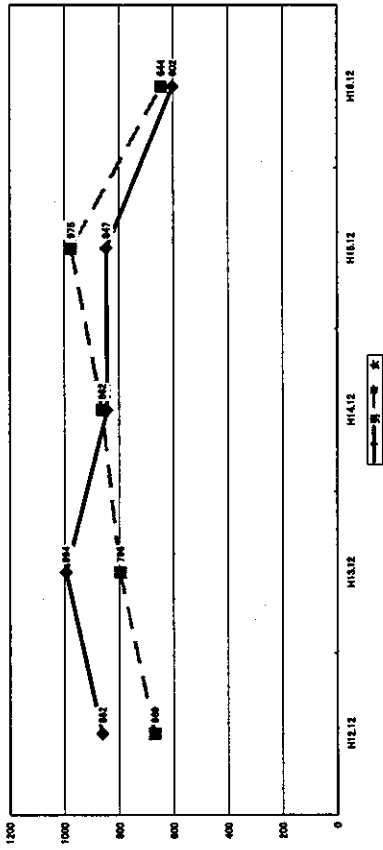


図4-2 県保健所における相談事例の年齢分布の経年変化

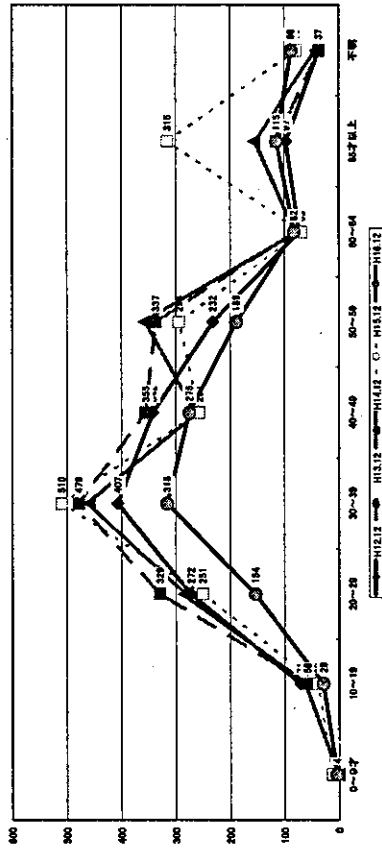


図3-11 市町村・県保健所・生活支援センター別にみた治療・生活・社会復帰上の問題

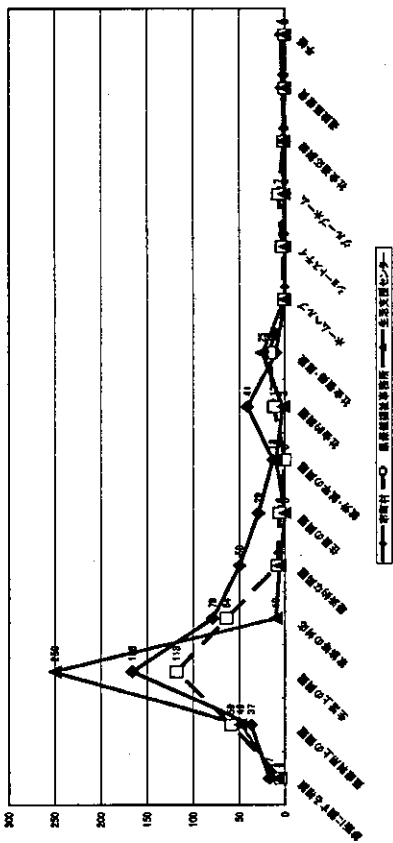


図3-12 市町村・県保健福祉事務所・生活支援センター別にみた担当者

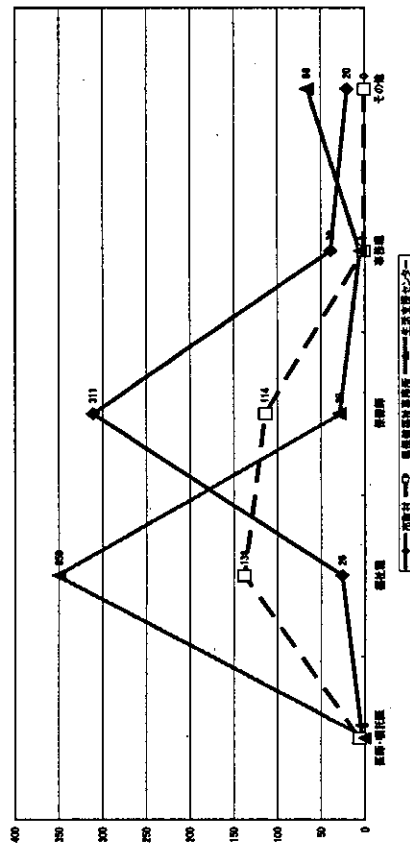


図4-3 県保健所における地域保健事業報告の経年変化

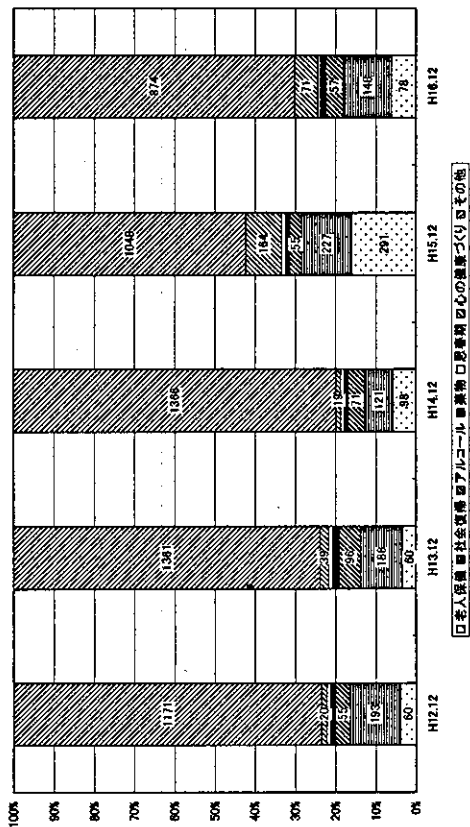


図4-5 県保健所における状態像の経年変化

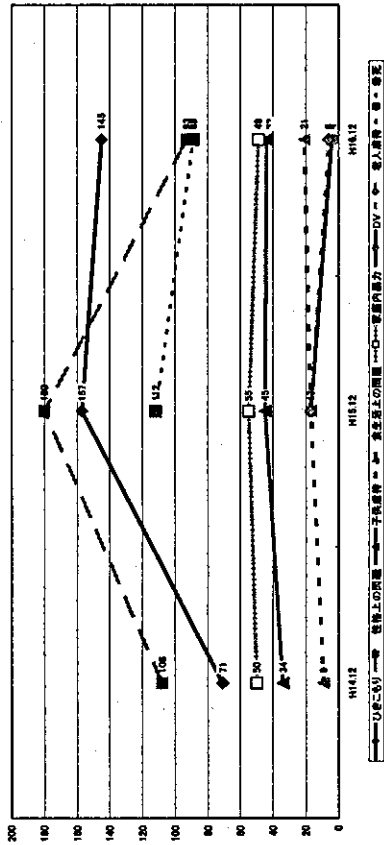


図4-4 保健所における診断名の経年変化

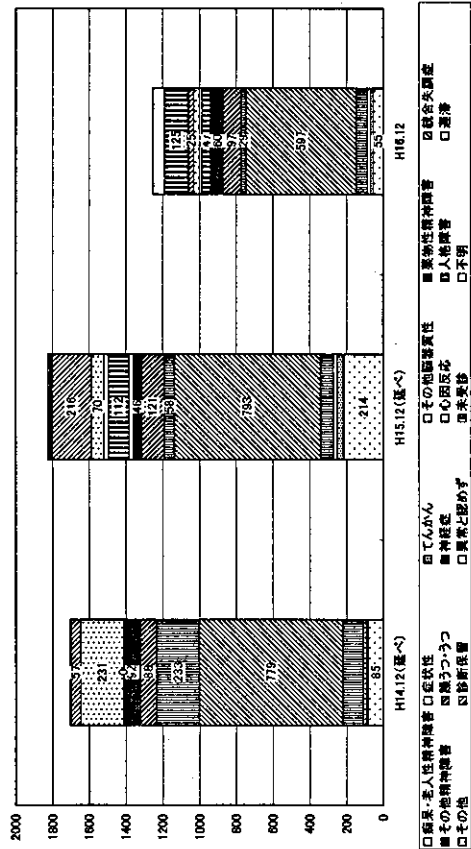


図4-6 県保健所における相談者内訳の経年変化

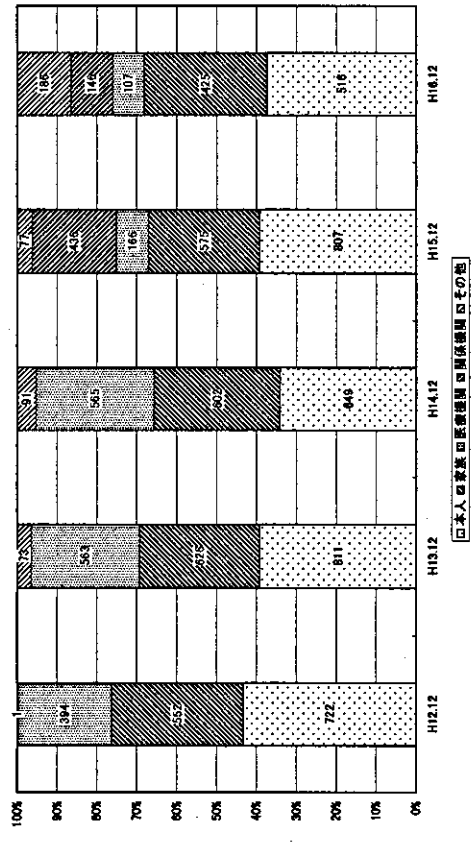


図4-7 県保健所における援助方法の経年変化

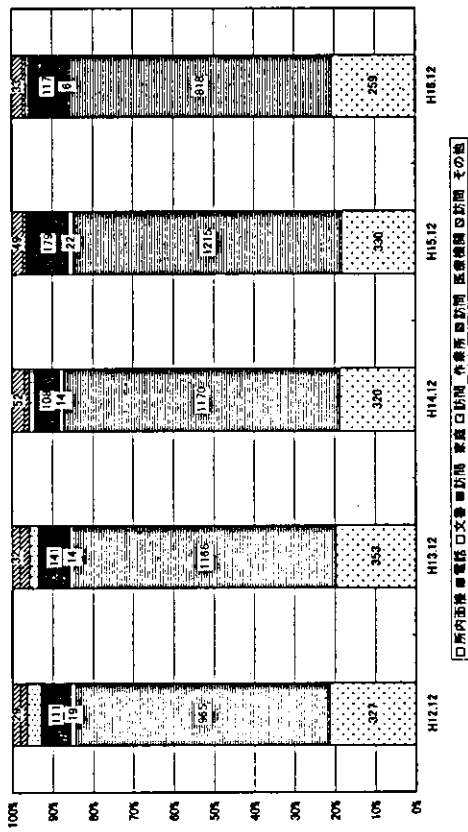


図4-9 県保健所における担当者の経年変化

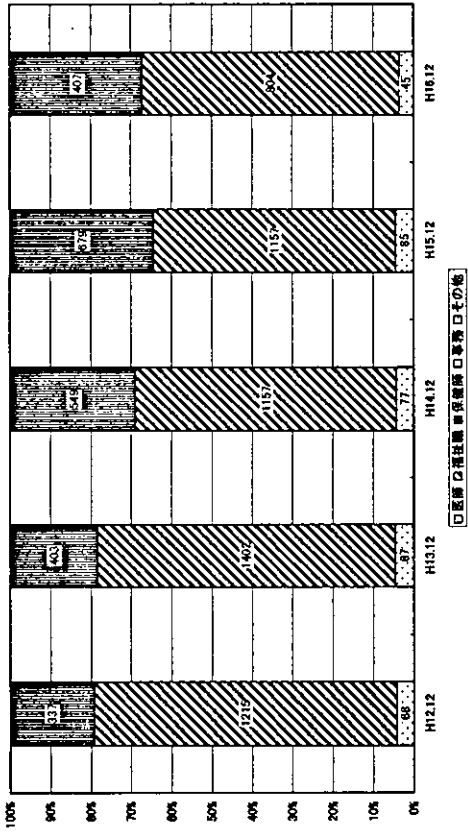
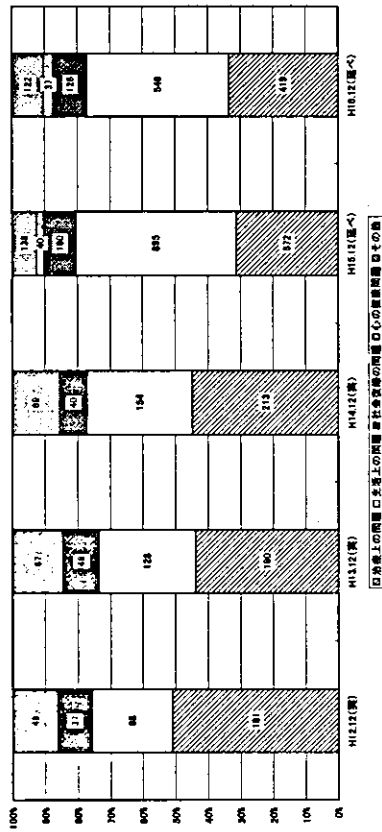


図4-8 県保健所における相談種別の経年変化



別添資料 1

本研究に対する他自治体からの意見聴取項目

以下の項目につきご意見ご感想をお聞かせ下さい。

- I 今回、モデルとして開発した県内自治体の共有精神保健福祉相談日計表案（以下、日計表案）」と「記入要領案」（平成 15 年度分担研究報告書に所収）についてお伺いします。
- 1 記入要領案について、わかりにくいところ、より明確にしたほうがよいと思われるところはありましたか。
- 2 日計表案の項目について
- (1) 貴施設での相談業務統計と比べて使いにくい点がありますか。
- (2) 各自治体共通の項目として有用と思われたものはありますか。
- (3) 必要のないものはありましたか。
- (4) 追加・改善すべき項目はありましたか。
- II 精神保健福祉相談業務統計などについて見直し、変更計画について
- (1) 貴自治体では、平成 14 年度以降の精神保健福祉相談業務統計などについて見直し、変更などされましたか？あるいは、今後の見直しを計画されていますか？
- (2) 地域精神保健福祉行政施策の立案などに際して、どのような統計資料を使用されていますか？
- (3) 県内の他自治体（県、政令指定都市、保健所政令市、市町村）と地域の精神保健福祉ニーズや行政施策の展開などに関する情報交換は、どのようにされていますか？
- III 相談業務指標の外に、地域ニーズを把握するための指標として、どのようなものが適切と思われますか？
- IV 本研究に対するご意見、ご感想をお聞かせ下さい。

別添資料2

本研究についての他自治体からの意見聴取結果

回答施設：埼玉県健康福祉部障害者福祉課、埼玉県立精神保健福祉センター、さいたま市こころの健康センター、大阪府健康福祉部障害保健福祉室精神保健福祉課、大阪府こころの健康総合センター、大阪市こころの健康センター、福岡県保健福祉部障害者福祉課、福岡県精神保健福祉センター、福岡市精神保健福祉センター、北九州市立精神保健福祉センター、福島県相双保健所、東京都多摩小平保健所、石川県加賀地域センター、兵庫県尼崎保健所、徳島県徳島保健所、埼玉県立大学保健医療福祉学部、

以下の項目につきご意見ご感想をお聞かせ下さい。	
今回、モデルとして開発した県内自治体の共有精神保健福祉相談日計表案（以下、日計表案）」と「記入要領案」（平成15年度分担研究報告書に所収）についてお伺いします。	
1 「記入要領」について、わかりにくいところ、より明確にしたほうがよいと思われるところはありませんか。	埼玉県庁
平成15年度分担研究報告書にもすでに書かれていますが、頻回相談者の業務量や「相談の質」を確認する項目があってもよいかと思いました。	
特にありません。	さいたま市センター
特にありません。	大阪市センター
・訪問先…所内での来所相談や電話相談の場合はどこにチェックするのか。	福岡県センター
・年齢…電話相談では年齢が確定できにくい場合があるので、○才代という表現でも記入できるようにしてほしい。	
・「相談種別」で、「いずれか一つを選び該当数字を記入（重複不可）」とあるが、「主なものいずれか一つを選び・・・」と書き加えたほうがよいのではないか。	大阪府庁・府センター
・「匿名相談の場合にも相談記録作成」とあるが、難しいのではないか。	
記入項目が大量になるものの工夫された神奈川版多軸診断を、ぜひ全国標準化されるよう祈っております。	福岡市センター
なお、当センターの所報にはまだ載せておりませんが、来所者のICDもつけております。本人が来所しなければほとんどz63 家族相談の項目でおとしています。	
特になし	北九州センター
なし	東京都多摩小平保健所
統一した記入要領があり、大変便利であった。分かりにくい点はありません。	石川県保健所
①「診断名」「状態像」について	尼崎市保健所
誰が判断するのでしょうか。医師が診断したものだけを記載するのか、窓口で相談を受けた担当者がそれぞれ判断するのか。窓口担当者が判断するのであれば、記入要領に、もっと具体的に細かく診断基準や定義を説明しないと、判断は難しいと思います。特に、市町村で事務担当者が相談を受ける場合などは、相談者本人が言うとおりの診断名を記述する可能性があります。	
②「診断名」について	
現在、32条や手帳の診断書等もICD10で統一されていますし、「診断名」はICD10の分類記号をそのまま記載したほうがわかりやすいのではないかと思います。	
③「状態像」について	
・「人格障害的問題」とは何かわかりにくいです。人格障害といってもいろいろ種類もあると思いますが、反社会的行為とか自傷行為の繰り返しとかいったことでしょうか？具体的な定義があったほうがよいと思います。	
・「食生活上の問題」というのは摂食障害のことでしょうか。障害者の生活上の支障という意味ではないですね。これも具体的に記載されたほうがよいと思います。	
・近年注目されているものとしては「発達障害」を追加されてはどうでしょうか。	
④「その他注目すべき状態像」のフリー記載について	
何らかカテゴリーしないと、自由記載では共通の集計は難しいと思います。本来この日計表に計上するものは相談記録を作成しているはずなので、個人記録のほうに記述してあればよいのでは？	
・日報表は、5人区切りで25人分、2枚で50人分となっていて、4枚で100件となり、確認しやすいです。	埼玉県立大学
・性別と年齢	
基本的な問題ですが、記入対象者は誰かですが来談した人＝本人の場合は問題ない本人以外の場合にどうするのか＝ここでの性別・年齢は？	
カルテは誰のものか？ 相談録は誰のものか？ たぶん、来談者等の相談対象者の年齢（本人）となるのでしょうか・・・今後の課題です。	
・年齢は、実際の年齢の記入で処理で分けたいと思います。	
・地域保健事業報告は、事業別を集計するときにとっても助かります。	
・把握区分	
年度新来を実数でカウントして、それいがいを積み上げて延べ数とする。とても重要で実数と延べ数の問題を解決出来ると思います。しかし、説明の、「*把握新は年度新の外数」はわかりやすいようでわかりにくい解説のような気がします。例えば「その年度まったく新たに把握した本当の新規の相談」でしょうか？	
・診断名	
診断がついている人のみと明確です。しかし時に受診していない人でもつけてしまうかたがいます。20 未受診 があってもいいのでしょうか？	

・状態像	
目的が明確なので・・	
・相談種別	
記入の説明について、「1. 2. 3に該当する場合は、再掲で選択（重複可）」これだけでは少しわかりにくいのですが。相談種別の1-5なのか、下位項目に番号がついているのでその番号なのか。例えば「相談種別の項目で1-3の場合で重複する場合については再掲枠に記載ください」でしょうか。	
ここでの「社会復帰」という項目について→「社会参加の支援に関する問題」ではいかがでしょうか。内容の1. 2は社会復帰でもよいのですが、福祉的や経済的な3-8では当てはまらないと思います。	
これは入力者は保健関係者とは限らないで、市町村では事務職や福祉職もいると思います。用語の使用 방법에若干の違いがあると思います。	
2 日計表案の項目について	
(1) 費施設での相談業務統計と比べて使いにくい点がありますか。	
特段使いにくさはないように思いますが、使用するにあたっては、相談件数の1件の数え方の根拠を再検討する必要があると思います。この数字が行政の事務サイドには「量」として捉えられるため、業務量が減ったように考えられて人員減とされてしまうかもしれません。そうすると現場からは導入に当たって抵抗がでる可能性が高いと思います。	埼玉県庁
特にありません。むしろ相談種別の分類の仕方については、非常にシンプルに整理されており、大変参考になりました。	さいたま市センター
・「診断名」について、ICD-10の診断分類が使いにくい。	大阪府庁・府センター
・「診断名」については、本人が正しく知らされていないことも多く、正確な診断名の把握は難しい。また、市町村からは「対象は精神障害者の福祉であり、病名をカウントする必要があるのか」と言われている。そういう意味でも、「診断名」という項目では、「その他」か「保留」が増えると考えられ、項目を変える等、工夫があればと思う。	
・市町村においては、対応する職員が精神保健福祉専任でないこともあり、全体的に項目が細かすぎて、日常的に統計を取ることが難しいと思われるので、もう少し簡素なものにする必要があると考える。	
大阪市では地域保健事業報告分類に基づいて集計するだけで詳細な統計データを採ってはいない。	大阪市センター
特にありません。	福岡県庁
・当施設では来所及び電話相談は1件につき1枚のシートにチェックを入れる様式を使い、相談終了後に記入し、データをパソコン入力している。電話の場合、相談を受ける職員がシートを手元において記入する事もある。相談を受ける職員が多い場合は、共有のシート1枚に1日の相談内容を記入するのは難しいと思われる。慣れるまでの間は1件1枚とし、パソコンでこの日計表に入力する方が確実ではないか。	福岡県センター
項目数はどうしても多くならざるを得ず、事務量の負担の不満が聞かれると思います。(どこまで絞り込めるか、なるべく少なく有用な指標を期待します。エクセルでポップアップメニューなどにしてあげると何とかなるかもしれないと思います)	北九州センター
見やすい表ではあるが、記入するのが大変でしたとのこと	福島県保健所
特にありません。	
なし	東京都多摩小平保健所
項目は現在使用しているものにはすべてあるが、報告書を作る上で費日計表にない項目がいくつかある点	石川県保健所
費日計表にない項目がいくつかある点	
① 当保健所では現在、相談業務統計はエクセルを利用したシステムを作り、入力集計しています。ですので、紙に手書きで記録、集計するということがずいぶん手間がかかります。	尼崎市保健所
② 日報の項目や内容は、1で上記したことを除けば特に問題はあります。	
・相談種別は重複傾向があるので問題として1つを選びづらい	徳島県保健所
・状態像が不明確で記入しにくい	
(2) 各自治体共通の項目として有用と思われたものはありますか。	
診断名の分類記載方法をICDコードに準拠する考え方は、全国的な統計基準の平均化に有用と思われま	埼玉県庁
どの項目も有用と感じられましたが、特に状態像（新たな地域ニーズの検討項目）は非常に有用と思われました。	さいたま市センター
すべて有用だと思うが、集計する事務量が多い。	大阪市センター
特にありません。	福岡県庁
・地域保健事業報告	福岡県センター
相談件数の考え方の統一	北九州センター
「状態像」として分類されている項目	
地域保健事業報告等、各種報告の集計がすぐできてよいとのこと	福島県保健所
なし	東京都多摩小平保健所
費日計表であげられている項目はすべて有用だと思います。	石川県保健所
①「援助方法」「地域保健事業報告」は厚労省統計報告上必須だと思います。	尼崎市保健所